

CS だより

日本キリスト教団逗子教会
牧師 小宮山剛
校長 渡辺 信

聖書のことば

『すべての人を一つにしてください』

イエスさまは十字架に架かる前の晩に、この言葉で神様に必死に祈りました。国境線をめぐる国同士の争い、原子力発電(所)や公共工事などの開発・環境問題、基地問題で二分される人びと、家庭内の不和……。私たちはずっとさまざまな形で「もめごと」を繰り返しています。「一つになること」がいかに難しいかを身をもって知らされてきたわけです。イエスさまにとっても「世界の人びとが一つになるように」とは痛切な願いでした。そしてこれは現代に生きる私たちが継続していかなければならない祈りなのかもしれません。いつか私たちが本当に一つになれるように。

(『イエスのことば100』より)

新しい年を迎えました。去年は、新型コロナウイルスによる感染症対策に振り回された1年でしたが、やるべきこと、我慢すべきことについて考え、本当に大切なことは何だろう・・・と思いめぐらす日々でした。みなさんは、元気に過ごしていますか？これからも、対策を取りながら、CSの礼拝や活動を続けていきたいと思えます。みなさんからも、教会でこんなことができたらいいな、と思うことがあったら教えてくださいね。

~~~~~ここからは、礼拝でのお話です~~~~~

## 1月3日の説教から 『博士たちの礼拝』

新約聖書：マタイによる福音書2章2節、11節  
こどもさんびか：78『とおくのひがしから』  
ブレイズソング：『God bless you』

2021年になって、初めての日曜日です。あけましておめでとうございます。ほとんどのお家では、12月25日を過ぎるとクリスマスの飾りは片付けて、お正月のしたくをすることでしょう。でも、教会では1月6日までがクリスマスです。1月6日は、(難しいことばでは「公現日」と言って、)博士たちがイエスさまを礼拝した日とされています。今日は、博士のお話をします。

イスラエルのベツレヘムでイエスさまがお生まれになった時、神さまはベツレヘムの近くの野原にいた羊飼いは天使を通して救い主のお誕生を知らされました。そして、イスラエルより遠く離れた国の博士たちには、星の光を通して救い主のお誕生を知らされました。

その星はこれまで見たことの無いような光り方をしていたのでしょう。不思議に光る星をみつけた博士

たちは、その星を道しるべにして出かけました。らくだにのって出かけたとも言われていますね。山を越え、砂漠を越え、川を渡り、いくつもの町を通りぬける旅だったことでしょう。博士たちは道に迷うと夜を待って空を見上げました。するとあの星が行く道を教えました。私は前に「博士の旅は3年ぐらいかかったと思われる」と聞いたことがあります。そのことが確かかどうかはわかりませんが、それぐらいに長い長い旅だったことは間違いありません。

長い旅をした博士たちがまず最初に訪ねた場所は、ベツレヘムの近くのエルサレムという町にあるお城でした。その時博士は「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか？」とヘロデ王に聞いています。(聖書マタイ2章2節に書いてあります。)

12月20日の大人のクリスマス礼拝で小宮山先生がお話していらしたことが、私の心に残っています。先生は『ユダヤ人の王』と言っているということは、博士たちはその前から『救い主キリスト』のことを旧約聖書から知っていたにちがいない」と言われました。

博士たちは、はじめから神さまを礼拝するために旅に出たのでした。「そこに救い主がいらっしゃる」と知り信じていたから、遠い国から長い長い旅を続けることができたのです。



イエスさまはピカピカの立派なお城にはいらっしゃいませんでした。博士はお城から出てまた空を見上げました。星は光って動いてイエスさまのいらっしゃる場所でピタリと止まりました。「あそこにおられる」・・・博士たちは喜びにあふれてそこに行き、とうとう小さな子どもの姿のイエスさまにお会いしました。お会いしてすぐに「この方こそ救い主イエスさまだ」とわかり、そこにひれふして礼拝をしました。「神さま、私たちに救い主をお与えくださって、ありがとうございます」と感謝してお祈りしたことでしょう。

その時の様子が今日の聖句カードに描かれています。博士たちは、礼拝した後、遠い自分たちの国から持って来た、自分たちの一番大切な宝物「黄金」「乳香」「没薬」をお捧げしました。博士たちの心はなお喜びでいっぱいでした。本当の神さまに会い、礼拝できたからです。

それから、博士たちは自分の国へと戻って行きました。また長い旅をして帰って行きました。

ヘロデ王やエルサレムやベツレヘムの人々は、イエスさまの近くに居ても、その方が救い主であると気付かずにいました。旧約聖書を知っていても信じることはできませんでした。でも、とてもとても遠い国の博士たちは、そのことを信じ、ただ礼拝するために長い旅をしました。そして礼拝できたことで、なお安心して自分の場所に戻って行きました。

イエスさまに会い、イエスさまを信じることができた時、私たちは安心させられます。私たちが愛して守ってくださる方が、いつでもどこでも共にいてくださるということを知るからです。

インマヌエル、神さま・イエスさまは今も生きて共におられます。

2021年も共にいて、守ってくださいます。

神さまを見上げ、みことばを聞き、祈りながら、賛美しながら、共に礼拝しながら歩みましょう。

<T. 0>

続きのお話（『主の祈り』についてのお話が始まります）

1月10日『父なる神さま』



1月17日『御国を来たせたまえ』



1月24日

『御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ』



1月31日

『我らの日用の糧を今日も与えたまえ』



\* カードの出典は福音主義教会連合

CS 礼拝のYouTube配信はこちらから→



こどものクリスマスのように

礼拝のあと、楽しいクイズをして・・・  
サンタさんもやってきました。  
みんな、プレゼントをもらいました！



CS と、教会員の皆さんでささげた、クリスマス献金のご報告です

アドベントの11月27日から12月27日の間にささげられた献金を集計すると、  
149,132 円

これを、ケニア・コイノニア・アカデミーに 79,516 円  
ワールドビジョン・ジャパンに 69,566 円 送金しました。

献金できたことも、クリスマスの恵みとして感謝します。そして、各地のお働きに神さまのお導きと祝福がありますよう、祈り続けたいと思います。

\* 逗子教会 CS についてのお問い合わせはこちらへどうぞ！

電話：046-873-8724 ファックス：046-854-7712 メール：cs@zushikyokai.holy.jp